

宮城県商工地区中小企業景況調査報告書

2020年10月～12月期

目 次

| | |
|---------------------------------|----|
| 1. 県下産業全体の景況 | 2 |
| (1) 主要景況項目のあらまし | 2 |
| (2) 全国・東北ブロックおよび本県景況のあらまし | 3 |
| (3) 今後の見通しについて | 4 |
| 2. 県下産業別の景況 | 5 |
| (1) 製造業の動向 | 5 |
| (2) 建設業の動向 | 8 |
| (3) 小売業の動向 | 11 |
| (4) サービス業の動向 | 14 |

2021年1月

宮城県商工会連合会

中小企業景況調査報告書

2020年10月～12月

[調査要領]

1. 調査対象

- (1) 対象地区 宮城県内10商工会地区
(調査対象商工会名) 名取市商工会、大河原町商工会、みやぎ仙台商工会、
利府松島商工会、くろかわ商工会、加美商工会、
遠田商工会、若柳金成商工会、みやぎ北上商工会、
石巻かほく商工会
- (2) 対象企業数 150企業
- (3) 回答企業数 150企業

2. 調査対象期間

2020年10月～12月期を対象として、調査時点は2020年11月15日とした。

3. 調査方法

- (1) 商工会の経営指導員による訪問面接調査。
- (2) 対象企業の抽出は、商工会に於いて、業種・規模等有意選定。

4. 回答企業内訳

| 業 種 | 企 業 数 |
|-------|-------|
| 製 造 業 | 3 2 |
| 建 設 業 | 2 6 |
| 小 売 業 | 4 4 |
| サービス業 | 4 8 |
| 合 計 | 1 5 0 |

5. そ の 他

本報告書中のD Iとは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合と減少(低下・悪化)企業割合の差を示すものである。

1. 県下産業全体の景況

(1) 主要景況項目のあらまし

① 業況D I の状況と来期見通し

県下商工会地区における今期(2020年10月～12月期)の調査において、産業全体(全産業)の業況D I(前年同期との比較D I、以下同じ)は、前期より3.5ポイントの改善で△47.6(前期△51.1)となった。産業別にみると、製造業が△59.4(前期△62.5)と3.1ポイント改善、建設業では△38.5(前期△50.0)と11.5ポイント改善、小売業では△52.3(前期△53.5)と1.2ポイント改善、サービス業でも△40.4(前期△41.3)と0.9ポイントの若干の改善となった。

来期見通しでは、産業全体(全産業)としては改善の見通しである。産業別では、小売業、サービス業で改善、製造業で若干の改善、建設業で悪化の見通しである。

表一1 業況D I の状況と来期見通し (前年同期比・D I)

| 業種 | 前期 | 今期 | 来期見通し |
|-------|--------|--------|--------|
| 全産業 | △ 51.1 | △ 47.6 | △ 43.2 |
| 製造業 | △ 62.5 | △ 59.4 | △ 58.6 |
| 建設業 | △ 50.0 | △ 38.5 | △ 46.2 |
| 小売業 | △ 53.5 | △ 52.3 | △ 43.2 |
| サービス業 | △ 41.3 | △ 40.4 | △ 32.0 |

② 設備投資の状況と来期計画

新規投資の実施比率は、製造業では21.9%で前期比9.4ポイント増加、建設業では3.8%で前期比△7.7ポイント減少、小売業では11.4%で前期比2.7ポイント増加、サービス業でも25.0%と前期比12.0ポイントの増加であった。

来期に設備投資を計画している企業は、今期に比べ建設業で増加、製造業、小売業、サービス業で減少となっている。

表一2 設備投資の状況と来期計画 (企業割合・%)

| 業種 | 前期 | 今期 | 来期計画 |
|-------|------|------|------|
| 製造業 | 12.5 | 21.9 | 15.6 |
| 建設業 | 11.5 | 3.8 | 11.5 |
| 小売業 | 8.7 | 11.4 | 6.8 |
| サービス業 | 13.0 | 25.0 | 10.4 |

(2) 全国・東北ブロックおよび本県景況のあらまし

① 売上額（完成工事額）

2020年12月調査の日銀短観で、「中小企業の業況判断指数（DI）は前期(2020年9月調査)と比較して、製造業が17ポイント改善のマイナス27、非製造業も10ポイント改善のマイナス12だった。先行きは製造業で今期に比べ若干の改善、非製造業では今期に比べ悪化を見込んでいる」と発表された。

宮城の今期売上額（完成工事額）DIは、全業種でマイナス値であった。前期との比較では建設業、小売業で改善、製造業、サービス業で悪化となった。

今期の宮城の全国・東北との売上額DI比較では、製造業・建設業で全国・東北以下、小売業で全国以下、東北以上、サービス業では全国・東北以上であった。

表－3 売上額（完成工事額）の状況（前年同期比・DI）

| 区分 業種 | 全 国 | | 東 北 | | 宮 城 | |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 前 期 | 今 期 | 前 期 | 今 期 | 前 期 | 今 期 |
| 製 造 業 | △ 64.9 | △ 54.6 | △ 69.0 | △ 56.9 | △ 59.3 | △ 71.8 |
| 建 設 業 | △ 33.6 | △ 24.1 | △ 33.3 | △ 31.7 | △ 42.4 | △ 34.6 |
| 小 売 業 | △ 61.2 | △ 50.4 | △ 64.0 | △ 56.3 | △ 58.8 | △ 54.6 |
| サービス業 | △ 67.8 | △ 55.4 | △ 66.6 | △ 53.8 | △ 45.6 | △ 50.0 |

② 採 算

宮城の今期の採算DIも、全業種でマイナス値であった。前期との比較では、製造業・小売業・サービス業で改善、建設業で横ばいとなった。

今期の宮城の全国・東北との採算DI比較では、製造業・建設業で全国・東北以下、小売業で全国以下、東北以上、サービス業では全国・東北以上であった。

表－4 採算の状況（前年同期比・DI）

| 区分 業種 | 全 国 | | 東 北 | | 宮 城 | |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 前 期 | 今 期 | 前 期 | 今 期 | 前 期 | 今 期 |
| 製 造 業 | △ 58.5 | △ 46.4 | △ 63.0 | △ 53.2 | △ 65.7 | △ 62.4 |
| 建 設 業 | △ 29.0 | △ 24.7 | △ 33.4 | △ 29.6 | △ 46.2 | △ 46.2 |
| 小 売 業 | △ 51.6 | △ 43.7 | △ 54.5 | △ 51.3 | △ 53.3 | △ 46.4 |
| サービス業 | △ 59.0 | △ 48.1 | △ 57.2 | △ 47.8 | △ 45.7 | △ 36.2 |

(3) 今後の見通しについて

① 県下産業全般の主要項目来期見通し

宮城の売上額（完成工事額）来期見通しD I（2021年1月～3月期）では、今期状況D Iとの比較で、製造業で18.7ポイントの改善、建設業で△11.5ポイントの悪化、小売業で13.8ポイントの改善、サービス業でも14.6ポイントの改善の見通しとなった。

採算来期見通しD Iでは、今期状況D Iとの比較で、製造業で9.2ポイントの改善、建設業で△3.8ポイントの悪化、小売業で△2.5ポイントの悪化、サービス業では2.1ポイントの改善見通しとなった。

② 全国と本県企業の来期見通し比較

今期と来期見通しとの比較において、製造業で売上は全国で改善、宮城でも改善、採算でも全国で改善、宮城でも改善の見通しとなった。建設業では売上は全国で悪化、宮城でも悪化、採算でも全国で悪化、宮城でも悪化の見通しとなった。小売業では売上は全国で改善、宮城でも改善、採算は全国で改善、宮城では悪化の見通しとなった。サービス業では、売上は全国で改善、宮城でも改善、採算でも全国・宮城共に改善の見通しとなった。

表－5 売上額（完成工事額）の状況と見通し（前年同期比・D I）

| 区分 業種 | 全 国 | | 宮 城 | |
|----------|--------|--------|--------|--------|
| | 今期状況 | 来期見通し | 今期状況 | 来期見通し |
| 製造業 | △ 54.6 | △ 42.7 | △ 71.8 | △ 53.1 |
| 建設業 | △ 24.1 | △ 28.7 | △ 34.6 | △ 46.1 |
| 小売業 | △ 50.4 | △ 47.7 | △ 54.6 | △ 40.8 |
| サービス業 | △ 55.4 | △ 45.5 | △ 50.0 | △ 35.4 |

表－6 採算の状況と見通し（前年同期比・D I）

| 区分 業種 | 全 国 | | 宮 城 | |
|----------|--------|--------|--------|--------|
| | 今期状況 | 来期見通し | 今期状況 | 来期見通し |
| 製造業 | △ 46.4 | △ 39.4 | △ 62.4 | △ 53.2 |
| 建設業 | △ 24.7 | △ 28.0 | △ 46.2 | △ 50.0 |
| 小売業 | △ 43.7 | △ 41.1 | △ 46.4 | △ 48.9 |
| サービス業 | △ 48.1 | △ 41.9 | △ 36.2 | △ 34.1 |

2. 県下産業別の景況

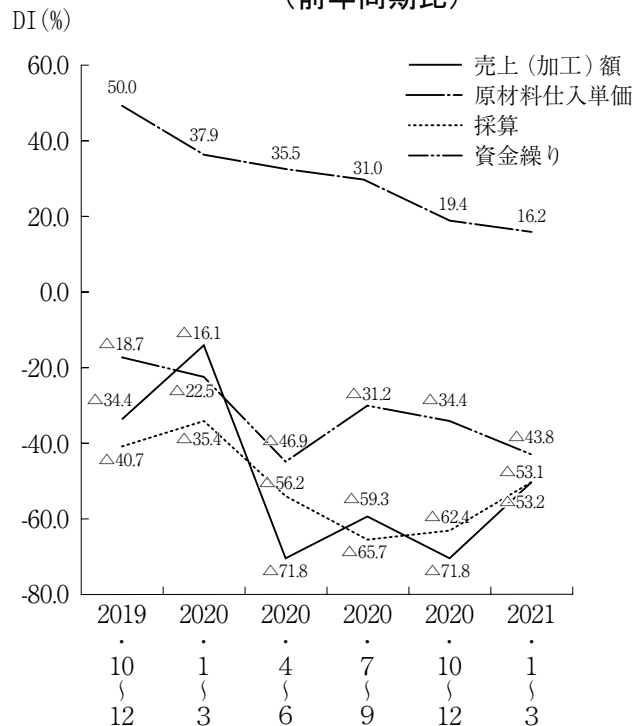
(1) 製造業の動向

① 主要景況項目から見たあらまし

前年同期比D Iは、売上（加工）額D Iが今期△71.8（前期△59.3）となり△12.5ポイント前期より悪化、採算D Iは今期△62.4（前期△65.7）で3.3ポイント改善、資金繰りD Iでは今期△34.4（前期△31.2）で△3.2ポイントの悪化となった。

原材料仕入単価は今期 19.4（前期 31.0）と△11.6ポイント下落した。

図 1-1 主要景況項目の推移
(前年同期比)



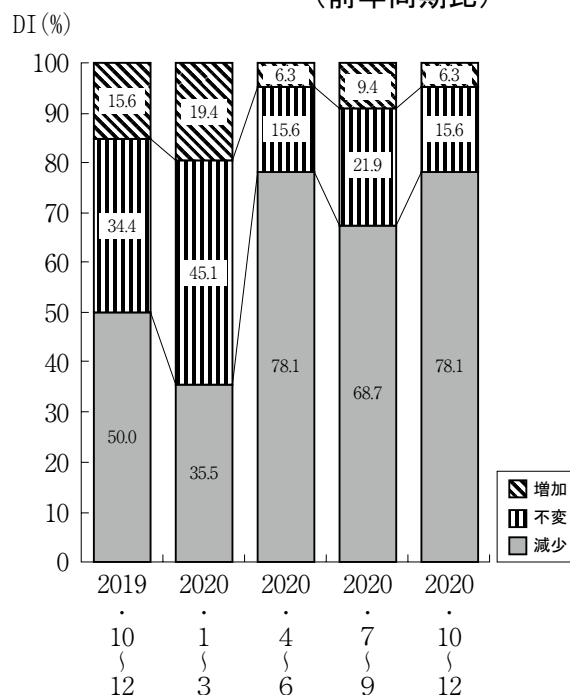
② 主要景況項目別状況

(a) 売上(加工)額

「増加」と回答した企業は、全体の6.3%（前期9.4%）と△3.1ポイント減少、「減少」と回答した企業は78.1%（前期68.7%）と9.4ポイント増加した。

その結果、売上（加工）額D Iは△71.8（前期△59.3）となり前期比△12.5ポイント悪化した。

図 1-2 売上（加工）額の状況
(前年同期比)

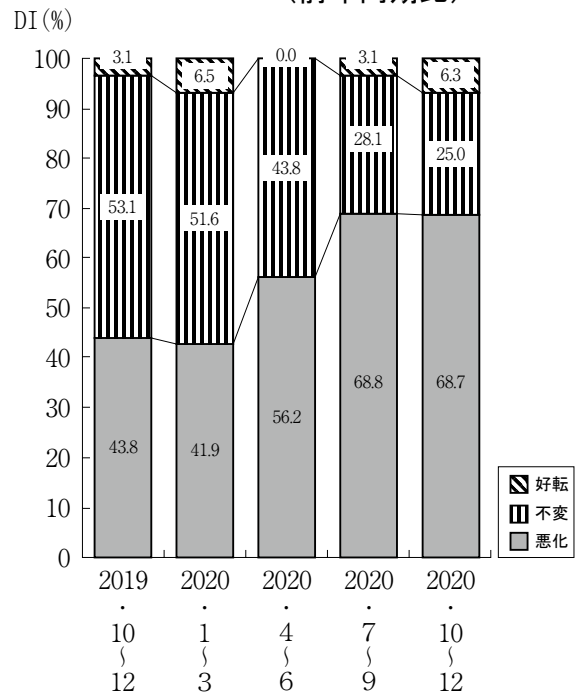


(b) 採 算

「好転」と回答した企業は全体の 6.3% (前期 3.1%) で 3.2 ポイント増加、「悪化」と回答した企業は 68.7% (前期 68.8%) で△0.1 ポイント減少した。

その結果、採算DIは△62.4 (前期△65.7) で前期より 3.3 ポイント改善した。

**図 1-3 採算の状況
(前年同期比)**



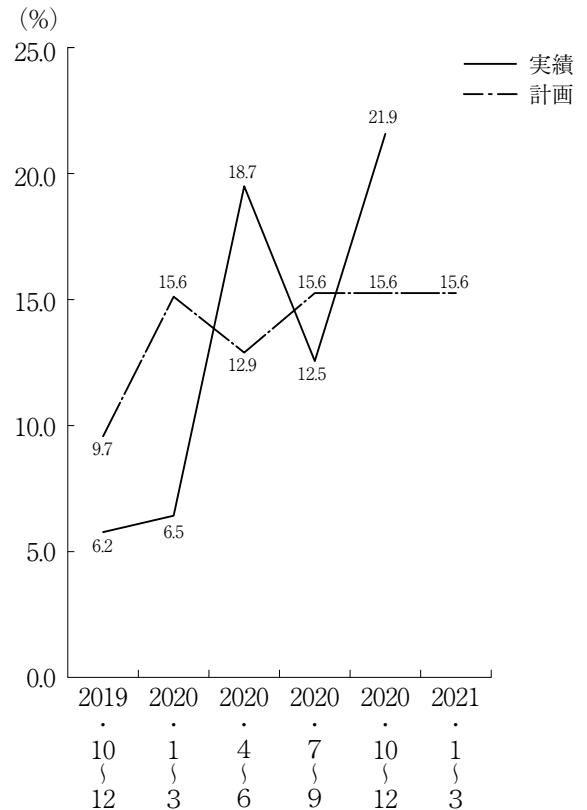
(c) 設 備 投 資

今期の新規投資実施(実績)企業割合は全体の 21.9% (前期 12.5%) で、前期と比べ 9.4 ポイント増加した。

その設備内容は、土地、工場建物、生産設備、車両・運搬具であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の 15.6%で、その設備内容は、生産設備、OA機器、その他となっている。

図 1-4 設備投資の状況

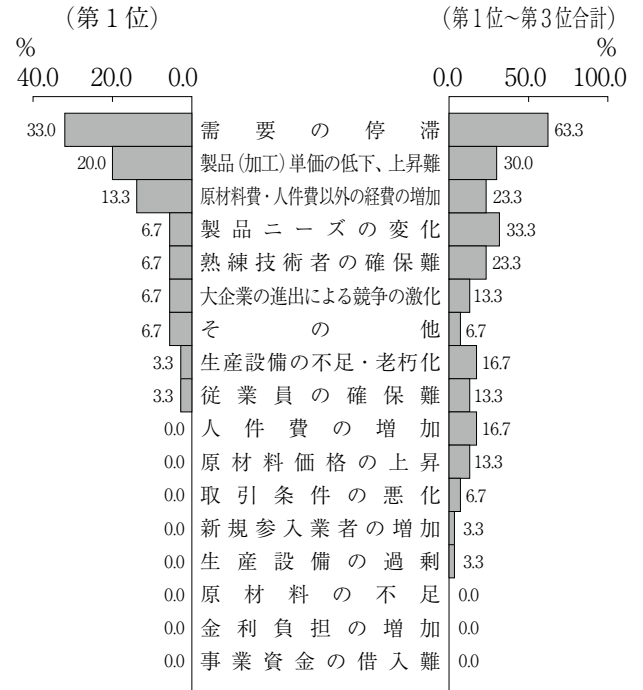


(d) 経営上の問題点

重要度第1位の問題点は「需要の停滞」で33.3%、次いで「製品（加工）単価の低下、上昇難」が20.0%、「原材料費・人件費以外の経費の増加」が13.3%で続いた。

重要度第1位から第3位合計でも「需要の停滞」が63.3%（複数回答合計、以下同じ）で最上位、次いで「製品ニーズの変化」が33.3%、「製品（加工）単価の低下、上昇難」が30.0%で続いた。

図1-5 経営上の問題点



③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期の比較では売上（加工）額D Iでは全国・東北で改善、宮城で悪化した。

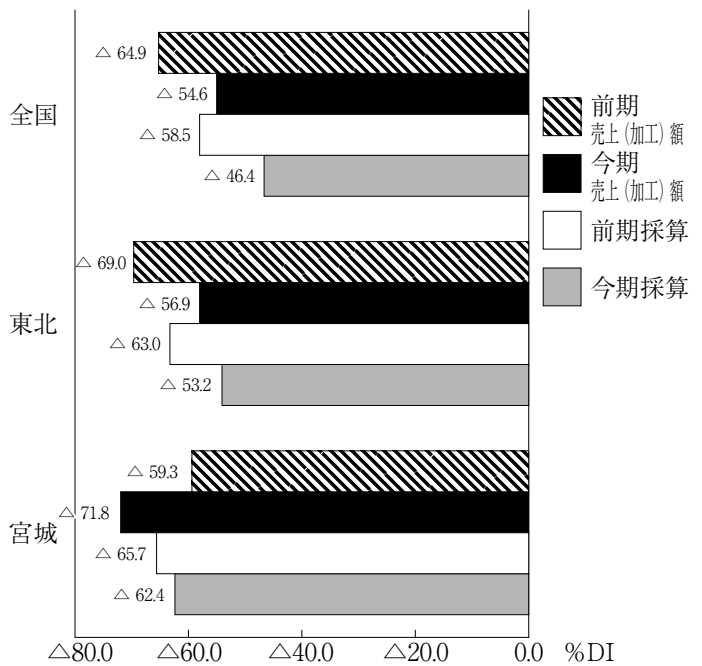
その改善度は、東北、全国の順であった。

採算D Iの比較では全地域（全区分）で改善した。

その改善度は、全国、東北、宮城の順であった。

本県回答事業者からは「国外からの部品入手が心配されるなか、発注数量を多く確保し予定通りの生産に繋げ、売り上げが好転」（電子機器組立業）や、「中小の製造業者が製品単価をあげにくい状況に加え、コロナの影響で更なる価格競争が始まりつつある」（治工具製造業）などのコメントがあった。

図1-6 全国東北宮城売上（加工）額・採算比較（前年同期比）

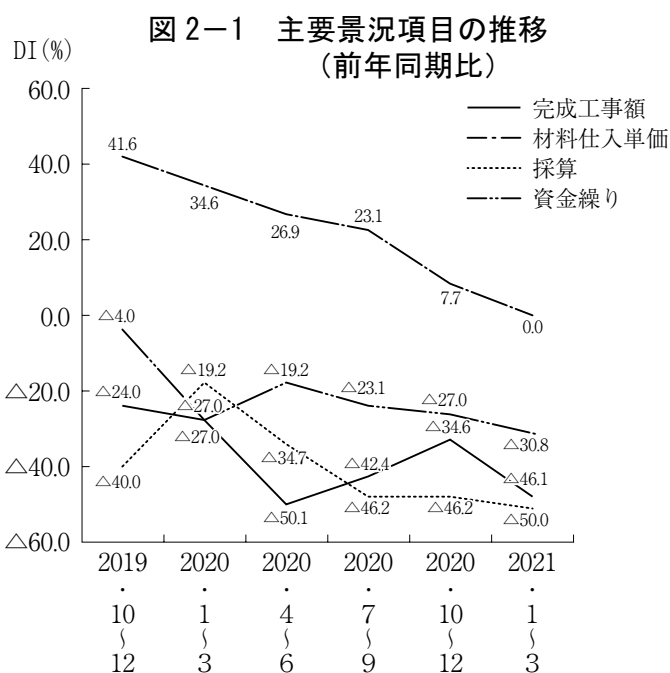


(2) 建設業の動向

① 主要景況項目から見たあらまし

完成工事（請負工事）額D Iは今期△34.6（前期△42.4）と7.8ポイント改善、採算D Iは今期△46.2（前期△46.2）で横ばい、資金繰りD Iでは今期△27.0（前期△23.1）と△3.9ポイント悪化した。

材料仕入単価D Iは今期7.7（前期23.1）と前期より△15.4ポイント下落した。



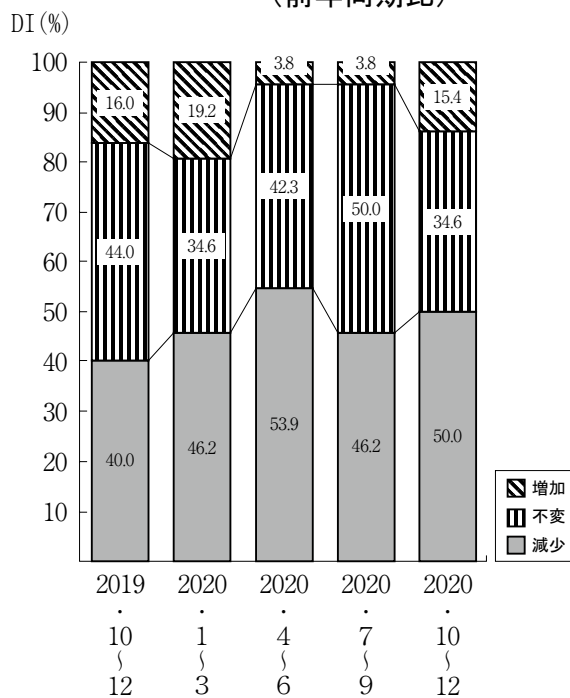
② 主要景況項目別状況

(a) 完成工事（請負工事）額

「増加」と回答した企業は全体の15.4%（前期3.8%）で11.6ポイント増加、「減少」と回答した企業も50.0%（前期46.2%）で3.8ポイント増加した。

その結果、完成工事（請負工事）額D Iは△34.6（前期△42.4）と7.8ポイント改善した。

図2-2 完成工事額の状況
(前年同期比)

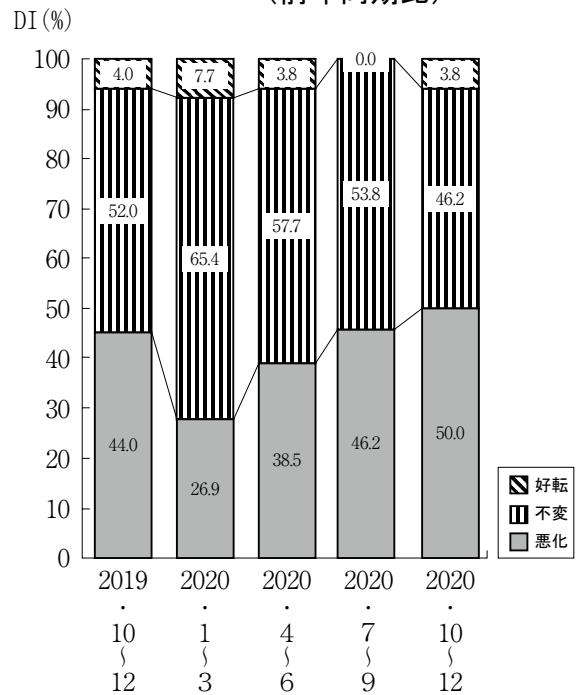


(b) 採 算

「好転」と回答した企業は全体の 3.8% (前期 0.0%) で 3.8 ポイント増加、「悪化」と回答した企業も全体の 50.0% (前期 46.2%) で 3.8 ポイント増加した。

その結果、採算DIは△46.2 (前期△46.2) と前期と同じ横ばいであった。

図 2-3 採算の状況 (前年同期比)



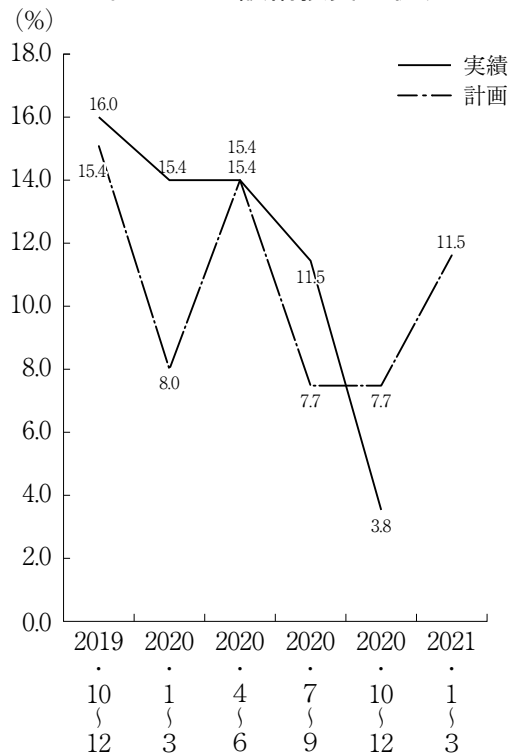
(c) 設 備 投 資

今期の新規投資実施 (実績) 企業割合は全体の 3.8% (前期 11.5%) で、前期比△7.7 ポイント減少した。

その設備内容は、車両・運搬具であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の 11.5% で、その設備内容は、建物、車両・運搬具、OA機器となっている。

図 2-4 設備投資の状況

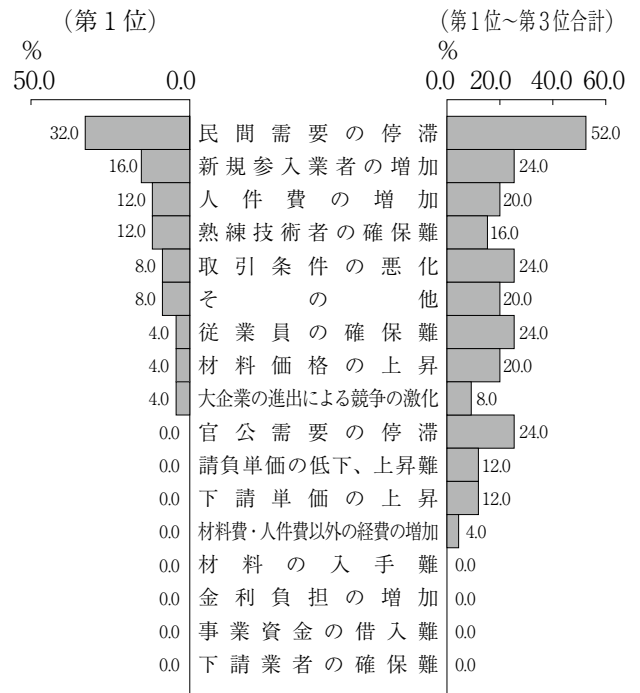


(d) 経営上の問題点

重要度第1位の問題点は「民間需要の停滞」が32.0%で、次いで「新規参入業者の増加」が16.0%、「人件費の増加」と「熟練技術者の確保難」が同率12.0%で続いた。

重要度第1位から第3位合計でも、「民間需要の停滞」が52.0%（複数回答合計、以下同じ）で最上位、次いで「新規参入業者の増加」、「取引条件の悪化」、「従業員の確保難」、「官公需要の停滞」が同率24.0%で続いた。

図2-5 経営上の問題点



③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期との比較では、完成工事額D I は全地域（全区分）で改善した。

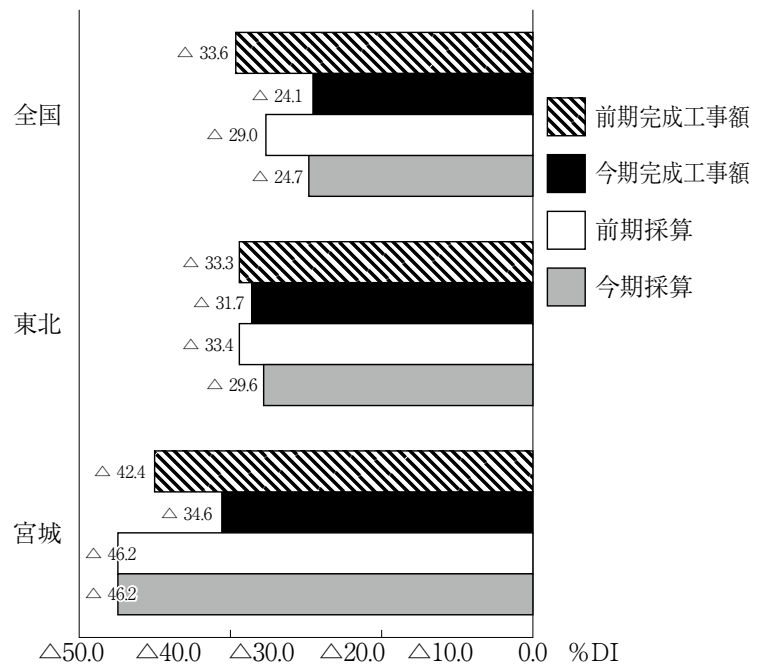
その改善度は全国、宮城、東北の順であった。

採算D I の比較では、全国、東北で改善、宮城で横ばいであった。

その改善度は全国、東北の順であった。

本県回答事業所からは「コロナの影響でなのか、契約件数の下落が進行」、「コロナの影響で需要が低下」などのコメントが寄せられた。

図2-6 全国東北宮城完成工事額・採算比較（前年同期比）



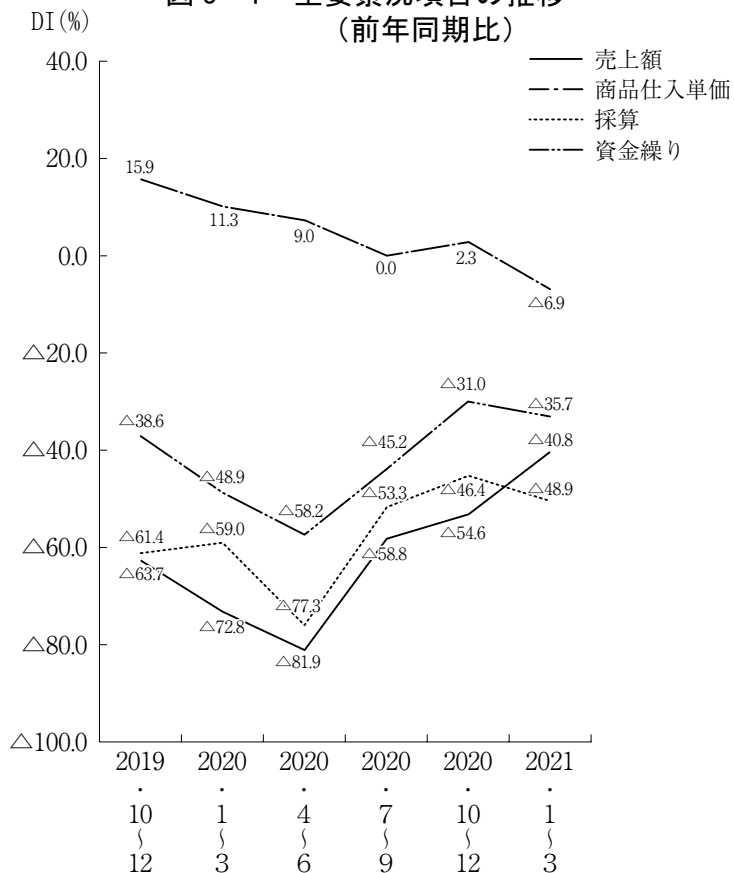
(3) 小売業の動向

① 主要景況項目から見たあらまし

売上額D Iは今期△54.6(前期△58.8)と前期より4.2ポイント改善、採算D Iは今期△46.4(前期△53.3)で6.9ポイント改善、資金繰りD Iでも今期△31.0(前期△45.2)で14.2ポイント改善した。

商品仕入単価D Iは今期2.3(前期0.0)となり、2.3ポイント上昇した。

図3-1 主要景況項目の推移
(前年同期比)



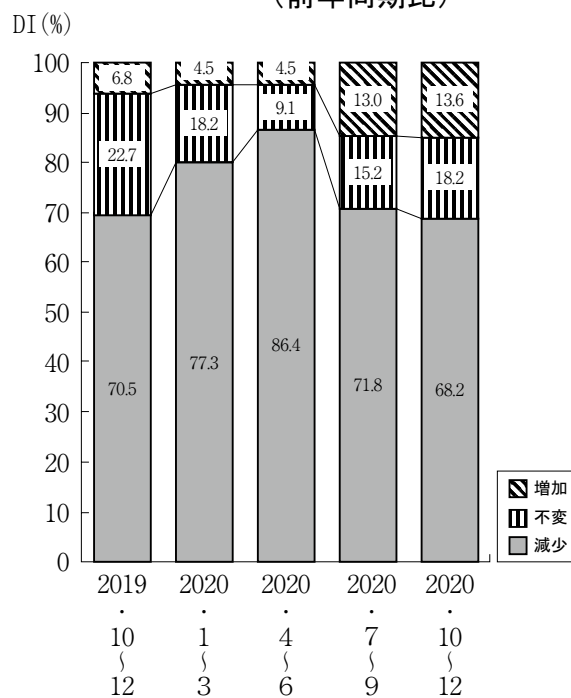
② 主要景況項目別状況

(a) 売上額

「増加」と回答した企業は、今期は全体の13.6%(前期13.0%)で0.6ポイント増加、「減少」の回答は、今期は全体の68.2%(前期71.8%)で△3.6ポイント減少した。

その結果、売上額D Iは今期△54.6(前期△58.8)と前期より4.2ポイント改善した。

図3-2 売上額の状況
(前年同期比)

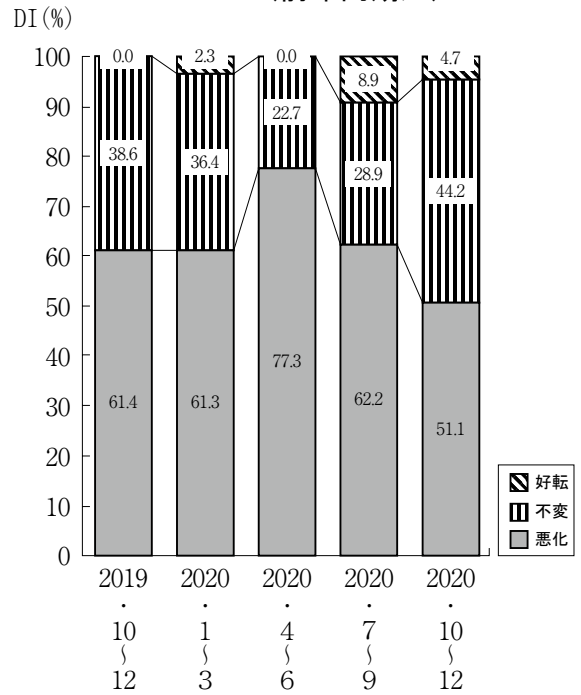


(b) 採 算

「好転」と回答した企業は、今期は全体の4.7%（前期8.9%）と△4.2%減少、「悪化」の回答も、今期は全体の51.1%（前期62.2%）で△11.1ポイント減少した。

その結果、採算DIは今期△46.4（前期△53.3）で、前期より6.9ポイント改善した。

図3-3 採算の状況
(前年同期比)



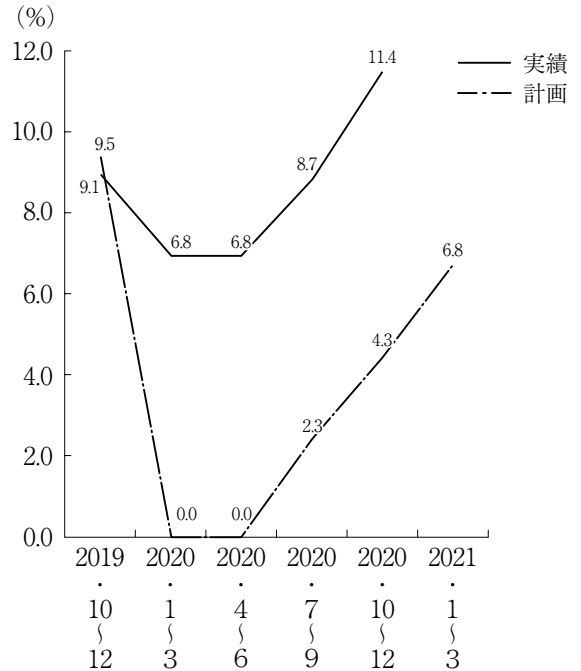
(c) 設 備 投 資

今期の新規投資実施（実績）企業割合は、全体の11.4%（前期8.7%）で、前期比2.7ポイント増加した。

その設備内容は、土地、販売設備、車両・運搬具、付帯施設であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の6.8%で、その設備内容は、土地、付帯施設、OA機器となっている。

図3-4 設備投資の状況

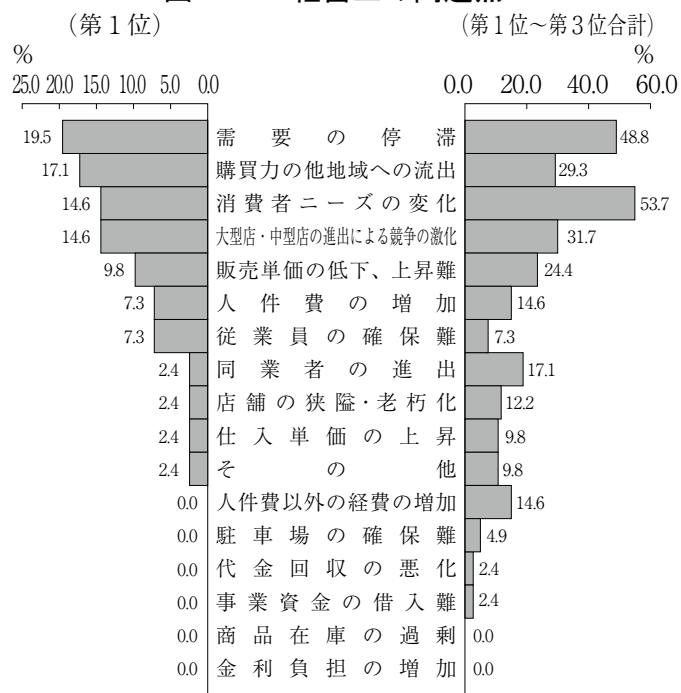


(d) 経営上の問題点

重要度第1位は「需要の停滞」が19.5%で、次いで「購買力の他地域への流出」が17.1%、「消費者ニーズの変化」と「大型店・中型店の進出による競争の激化」が同率14.6%で続いた。

重要度第1位から第3位合計では、「消費者ニーズの変化」が53.7%(複数回答合計、以下同じ)で最上位、次いで「需要の停滞」が48.8%、「大型店・中型店の進出による競争の激化」が31.7%で続いた。

図3-5 経営上の問題点



③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期の比較では、売上DIは全地域(全区分)で改善した。

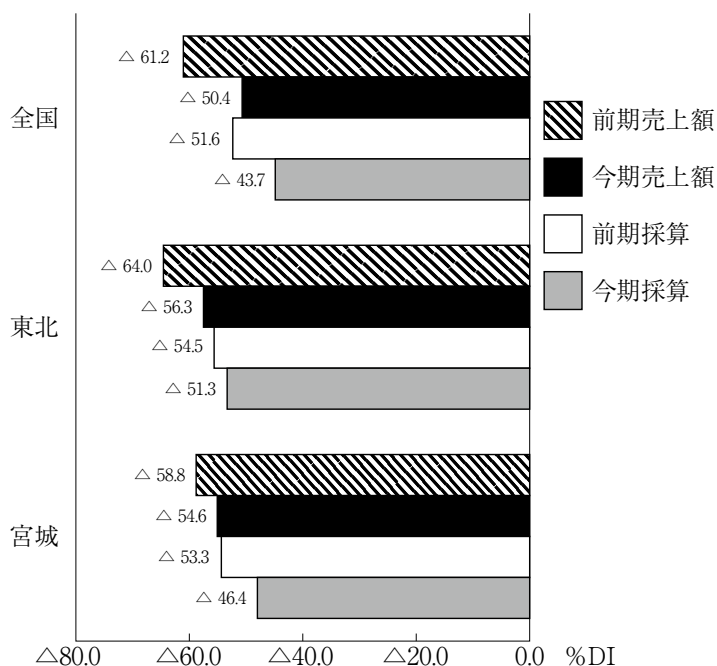
その改善度は全国、東北、宮城の順であった。

採算DIでも全地域(全区分)で改善した。

その改善度は全国、宮城、東北の順であった。

本県回答事業所から「GoTo トラベルで客数が増加。一方、感染対策に難しい面があり、不安を感じながら営業」(海産物販売)や「コロナで自粛状態のなか、国や市の給付金や支援金で大いに助けられた」(家電販売店)などのコメントが寄せられた。

図3-6 全国東北宮城売上額・採算比較(前年同期比)



(4) サービス業の動向

① 主要景況項目から見たあらまし

売上（収入）額DIは今期△50.0（前期△45.6）で△4.4ポイント悪化、採算DIは今期△36.2（前期△45.7）で9.5ポイント改善、資金繰りDIでも今期△25.0（前期△34.1）で9.1ポイント改善した。

利用客数DIは今期△47.9（前期△45.7）で△2.2ポイント減少した。

② 主要景況項目別状況

(a) 売上（収入）額

「増加」と回答した企業は、今期は全体の12.5%（前期17.4%）で前期より△4.9ポイント減少、「減少」の回答も今期62.5%（前期63.0%）で△0.5ポイント減少した。

その結果、売上（収入）額DIは今期△50.0（前期△45.6）で前期より△4.4ポイント悪化した。

図4-1 主要景況項目の推移
(前年同期比)

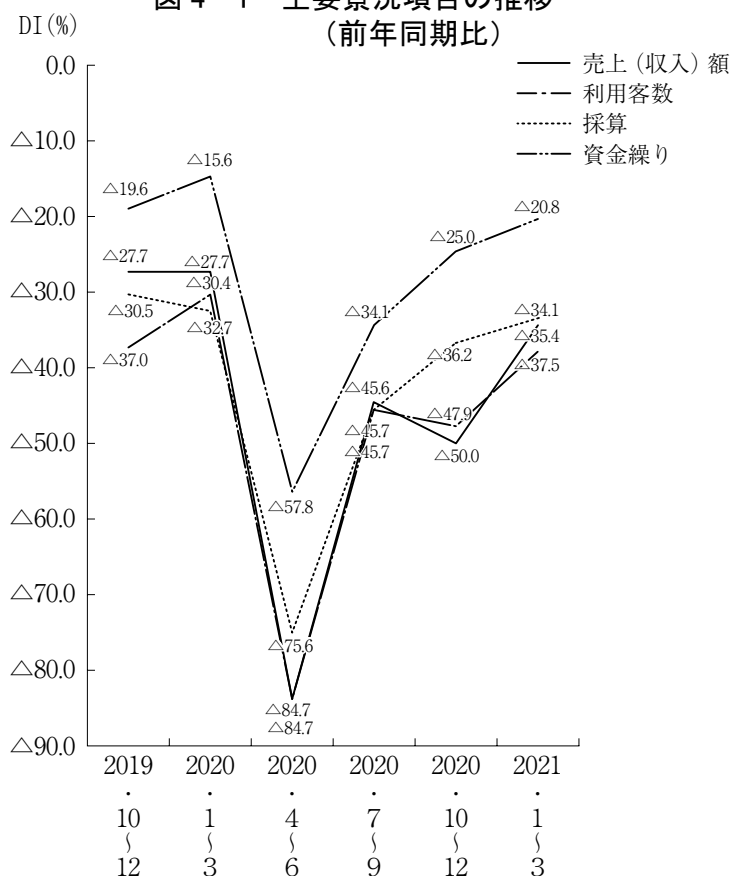
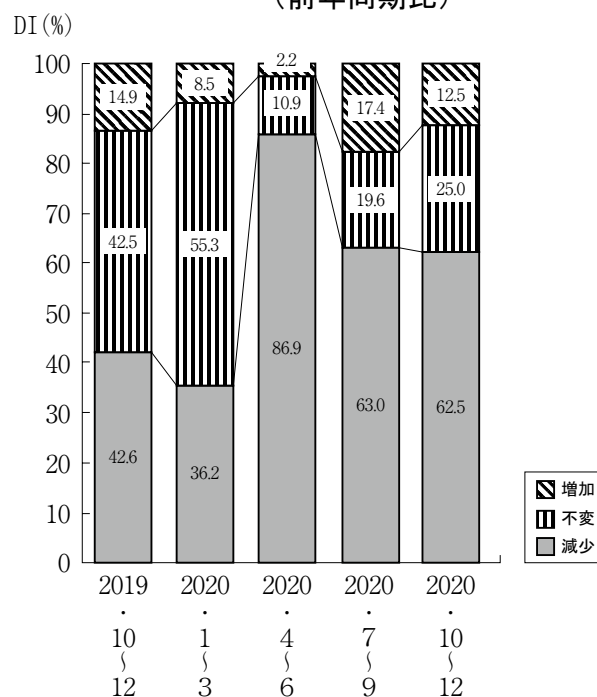


図4-2 売上（収入）額の状況
(前年同期比)

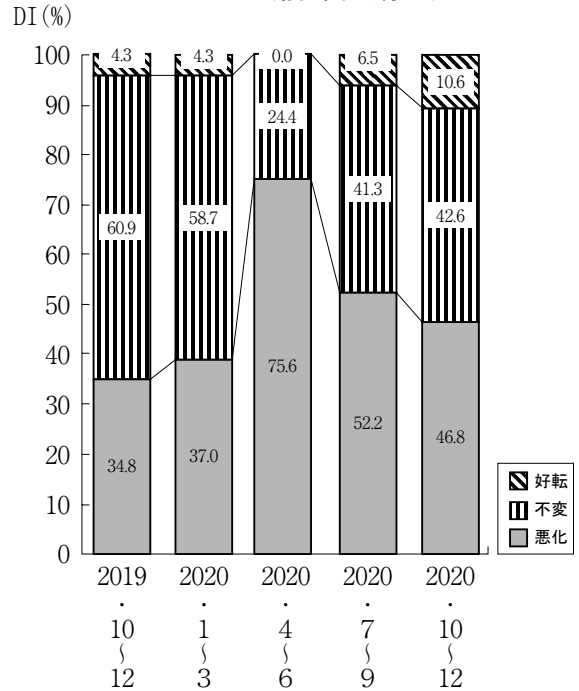


(b) 採 算

「好転」と回答した企業は、今期は全体の10.6%（前期 6.5%）で 4.1 ポイント増加、「悪化」と回答した企業は今期 46.8%（前期 52.2%）と△5.4 ポイント減少した。

その結果、採算D I は今期△36.2（前期△45.7）で前期より 9.5 ポイント改善した。

図 4-3 採算の状況
(前年同期比)



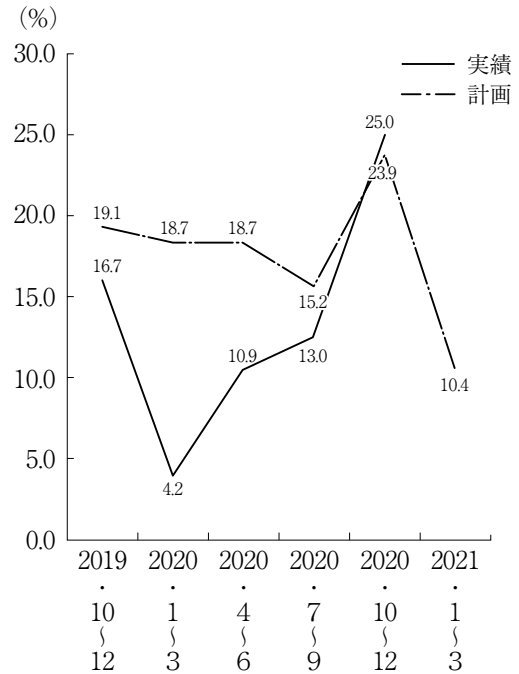
(c) 設 備 投 資

今期新規投資を実施（実績）した企業は全体の 25.0%（前期 13.0%）で、前期より 12.0 ポイント増加した。

その設備内容は、建物、サービス、車両・運搬具、付帯施設であった。

来期に設備計画している企業割合は全体の 10.4%で、その設備内容は、建物、サービス、車両・運搬具、付帯施設、その他となっている。

図 4-4 設備投資の状況

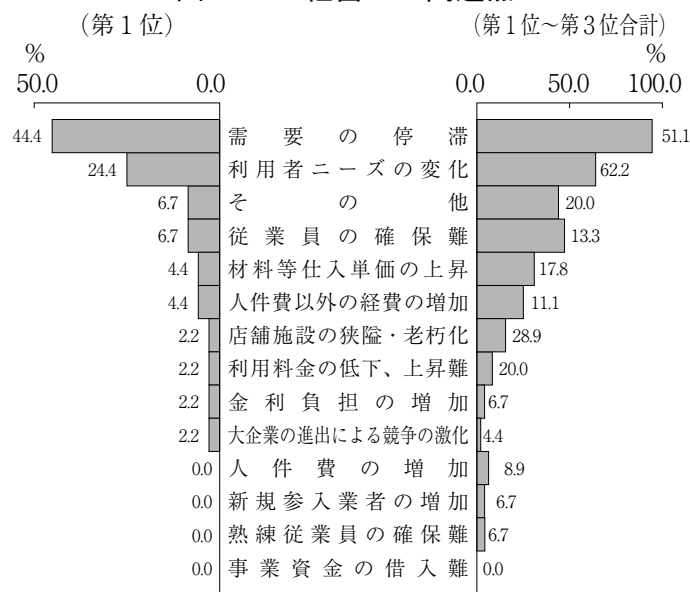


(d) 経営上の問題点

重要度第1位は「需要の停滞」が44.4%で、次いで「利用者ニーズの変化」が24.4%、「その他」と「従業員の確保難」が同率6.7%で続いた。

重要度第1位から第3位合計では「利用者ニーズの変化」が62.2%（複数回答合計、以下同じ）で最上位、次いで「需要の停滞」が51.1%、「店舗施設の狭隘・老朽化」が28.9%で続いた。

図4-5 経営上の問題点



③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

前期と今期の比較において、売上(収入)DIは全国・東北で改善、宮城で悪化した。

その改善度は東北、全国の順であった。

採算DIでは、全地域(全区分)で改善した。

その改善度は全国、宮城、東北の順であった。

本県回答事業所からは「GoTo トラベルのおかげで宿泊数、売り上げが増加。終了後に来る反動への対応が難しい(宿泊業)や「コロナ禍のなか昼のお客は少し戻りつつあるが、夜の宴会予約がほとんどなく、大変不安な毎日(飲食業)などのコメントが寄せられた。

図4-6 全国東北宮城売上(収入)額・採算比較(前年同期比)

